

広報 Kouhou Wakasa わかさ

2²⁰²²月号
No.202



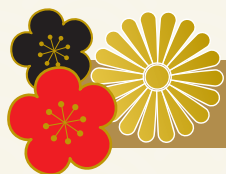
[特集] 02

渡辺町長 新春インタビュー

SDGsからはじまる新しいまちづくり

06 ドキ! DOKI! 情報局

08 情報BOX



渡辺町長 新春インタビュー

SDGsからはじまる新



R3.5.6 初登庁



R3.8.2 美方高校生による奨学金返還支援制度発表会

渡辺英朗町長は昨年5月6日の初登庁以来、これまでどのように考え町政にあたってきたか。また今後の若狭町は。

年頭にあたりインタビューしました。

昨年5月の就任以来約8か月過ぎましたが、感想などお聞かせください

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。まず1番には、コロナ禍の中の就任ということで、先頭にたって新型コロナウイルスの感染対策とワクチン接種が円滑に進むよう注力しました。町民の皆さんのご理解と医療関係者や職員の協力もあり、5月の高齢者接種から始まり、現在2回目の接種率が全体の9割近くになりました。感染者も少なく一定の効果があったと思っています。特にこの時の職員の頑張りを間近に見て、頼もしく感じました。また、町民の皆さんをはじめ、介護や空き家の管理などで県外から往来される方に対してPCR検査費の助成を行い、より安心を確保する施策にも取り組みました。

今後の若狭町についての考えは

今後コロナが収まりを見せ、観光や商業が動き出すのに合わせ、行政としてどう対応できるか、スピード感を持った行政運営を心がけなければと思っています。4月には、ウェディングドレスミュージアムやレインボーライン山頂公園のレストランなどの施設も完成予定であり、また河内川ダム周辺のお花見広場キャンプ場などの整備も着々と進んでいます。2年後の北陸新幹線敦賀開業を見すえたまちづくりを町民の皆さんと共に早急に進めなければと考えております。

先ほど介護や空き家の話も出ましたが、地域での支え合いに欠かせないのが集落や地域づくり協議会だと思います。地域の特性を生かした活動をさらに伸ばしていただきたいと思います。また防災面でも、例えば西浦地域づくり協議会で発足した「^{こうえんたい}岬援隊」といった共助組織もうまれ、防災士の会も発足しました。地域防災が有効に機能すると思います。町も一体となって支援させていただきます。コロナが収まり地域活動が本格的に再開したときは、地域づくり協議会が中心となり地域活性

しいまちづくり



R3.6.14 福井梅皇室献上選果式



R3.6.25 縄文博物館、入館60万人達成



R3.7.22 出産お祝い金絵本贈呈式



R3.9.10 「下水道の日」街頭啓発活動



R3.11.1 よしもと住みます芸人若狭町へ移住



R3.11.15 山内かぶら収穫祭

化に取り組んでいただきたいと思います。そのために町でも取り組みはじめたSDGs(P5参照)を導入し、あるべき課題を整理し、地域の特性が違う各地域づくり協議会を一つにつないで、町全体が一体になるようにしていきたいと思っています。また定住促進につながる奨学金返還支援制度は、SDGsを学んでいる美方高校生の発案であるように、若い人たちにも協力いただき、新しい時代の取り組みを町に生かしていきたいと思っています。

財政面では、公債費比率が15.3%と県内最高であり、依然立て直しが急務です。これからも県・国との関係を密にし、民間の力も借り行財政改革に邁進してまいります。また、企業誘致はもちろん、起業の支援や既存企業の継承施策を商工会や観光協会にも協力を得て進めてまいります。そして全世代で支え合い、元気な町にしていきたいと思っています。

現在、第二次若狭町総合計画中期基本計画(P4参照)の策定を進めています。これを機会に、各分野や各世代の委員を中心に、さらには福井大学との連携により専門性や外部から見た意見もふまえ十分議論し、将来の若狭町のビジョンを描

き、住民の皆さんと共有し、まちづくりを進めていきます。

今年は今まで以上に情報発信の大切さを肝に銘じ、地域に出向いて直接お話ししたり、DX*を最大限に利用することにより町民の皆さんとの情報共有を図り、協働のまちづくりの推進に努めます。

若狭町には、三方五湖や年縞、熊川宿といった世界に誇れる宝がたくさんあります。それらをさらに磨き上げ、町民の皆さんがより安心して暮らすことのできる若狭町を目指す1年にしてまいります。

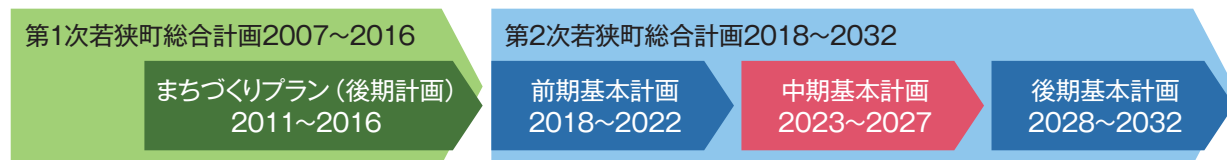
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

※DX(デジタルトランスフォーメーション:Digital transformation)とは「デジタルによる変革」を表す言葉になります。デジタル技術を活用して、製品やサービス、仕事の仕組みに新しい考え方や技術を取り入れ、人々の生活をよりよいものに変革していくことを意味しています。

若狭町総合計画中期基本計画を策定します

現在、「第2次若狭町総合計画（前期基本計画）」に基づき、まちづくりを進めています。

この計画は、令和4年度で終了することから、10月より、次の計画である「第2次若狭町総合計画（中期基本計画）」の策定作業に着手しました。

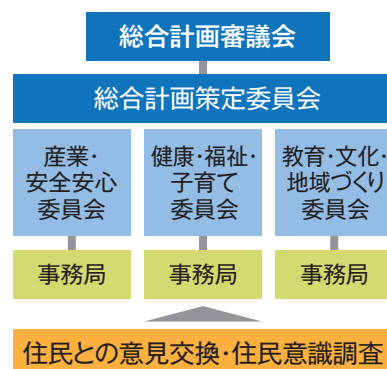


◆策定体制

計画の策定については、町長から、各種団体の代表者で構成する「総合計画審議会」に策定を諮問し、内容を検討していただいています。

また、計画の具体案については、各分野の実践者（33名）で構成する「総合計画策定委員会」において検討していただいています。

12月に実施しました住民意識調査の結果や、住民の皆さんとの意見交換会でのご意見などを、計画に反映していきます。



若狭町総合計画審議会 名簿

氏名	集落	役職等
竹越 聡	神子	若狭三方五湖観光協会 会長
田多 悟	切迫	区長会 会長
鳥居とし江	能登野	女性の会 会長
長田 浩二	海山	わかさ東商工会 会長
中塚 文和	下吉田	農業委員会 委員長
中村 正人	堤	教育委員
野嶋 慎二		福井大学 教授
福井眞寿美	兼田	わかさ元気町づくりネットワーク会長
山崎 和男	関	社会福祉協議会 会長
吉村 義彦	相田	伝統文化保存協会 会長



審議会長

中村 正人

急激な社会変化は、経験したことのない諸問題を我々につきつけています。正解のない解を追求するには、一人一人が問題意識を共有し議論を重ね、よりよいものを創り出す必要があります。定住を促進し、持続可能な町となるよう計画づくりを進めたいと思います。

◆計画のポイント

「移住・定住促進」を大きな目標に掲げ、次の3点を念頭に施策、取組を検討します。

- ① 住民の声を反映し、計画を住民と共有
- ② SDGsの達成に向けた施策づくり
- ③ 実行性の高い計画づくり



ご意見募集

今後のまちづくりについて、住民の皆様からご意見を募集します。

日ごろ、暮らしの中で感じていること、こんな町になったらいいと思っていることなど、ご意見をお寄せください。

送付先：若狭町役場政策推進課

提出方法：郵便、ファクシミリ（0770-45-1115）

電子メール seisaku@town.fukui-wakasa.lg.jp

SDGsの理念に基づいたまちづくりを推進します

若狭町が将来にわたって成長力を確保するには、住民が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域の活性化が重要です。

そこで、行政・団体・住民・事業者等が各取り組みの方向性、必要性を確認し、共にすることにより、地域課題解決の加速化を図り、地方創生の取り組みをより一層充実・深化させるとともに、その実行力を高めるため、SDGs(持続可能な開発目標)を原動力としたまちづくりを推進します。

◆SDGsとは

「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。



◆若狭町では

SDGsの取り組みは、関係者の主体的な行動が重要です。そこで、町が先導役となって、SDGsの理念の共有、理解に向けた情報発信・普及啓発、目標達成に向けた取り組みを進めていきます。

そのため、役場内部に「SDGs推進本部」を設置し、取り組みを始めました。

役場がはじめたこと

- ① MySDGs …… 研修会を実施し、職員個々で個人の目標を定めました。
- ② SDGs宣言 …… 各課の業務目標にSDGsを取り入れています。
- ③ 役場SDGs …… 役場も1事業所として、職員が一体となり目標達成にむけた取組を始めました。
- ④ まちづくり …… 各事業の立案にはSDGsを取り入れ、皆さんと課題と目標を共有します。

今後の取り組み

策定中の「第2次若狭町総合計画(中期基本計画)」については、SDGsの基本理念を取り入れ、その目標達成に向けた施策づくりを行います。

住民、地域、行政、事業者などが目標を共にすることにより、より強く、より深く、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを実現します。

ご協力ください！

役場SDGsの取り組みの一環として、「プラスチックごみの削減」に取り組みます。

そのために、町が主催する会議等での飲料の提供を控えさせていただきます。

参加の皆様は水筒などマイボトル持参にご協力をお願いします。



Darea パレア若狭 研修室

てつがくカフェ
「かんがえるじかん vol. 2」

じ え か
か ● かん
ん る が

KANGAERUJIKAN
てつがくカフェ

■哲学カフェは「考える」練習場です。

「あれ?何だろう?」と思うことを「テーマ」にして、子どもから大人まで、みんなと一緒に考えていきます。

無理に話そうとしなくても大丈夫。聞いているだけでもOKです。

誰かと一緒に考えることや日常のコミュニケーションがより楽しくなるはず。

◆テーマ「しあわせって何だろう?」

参加者を募集

開催日／ 2月19日(土)

時間／ 13:30～17:00

会場／パレア若狭研修室

進行／西村高宏氏(福井大学医学部准教授)

グラフィック／近田真美子氏(福井医療大学准教授)

参加費／500円(1ドリンク付き)

定員／15名

小学生からお年寄りまで、一緒になって場をつくりましょう。

第3回は3月26日に開催予定です。ただいま第3回の話し合うテーマを募集しています。話し合ってみたいテーマをお寄せください。



REPORT

かんがえるじかん vol. 1

パレア若狭初の哲学カフェが10月22日に「ふつうってなんだろう?」をテーマに開催されました。10代から70代までの18人が参加しました。

参加者の感想

- 自由に自分の考えを語れる場が心地よかった。
- いろんな人の考えていることを聞く場ってあまりないんだな…と実感。
- 自分の考えがゆれていくのがとても面白いです。

案内 パレア文化課 Tel:0770-62-2508

みんなのホールプロジェクト 第2期
オトカド
「WAKASA
アーティスティック ホリデー」
パレア若狭で開催!

みんなのホールプロジェクト
オトカド
音 × 風 × 土

■音楽があふれるパレア若狭で、
素敵な週末のひとつをお過ごし下さい。
※詳しい演奏時間などは後日チラシ等でお知らせします。

「みんなのホール ホリデー」

開催日／ 2月12日(土) 時間／13:00～20:00

出演／県民の皆さんのステージ発表

武生商業・武生商工高等学校吹奏楽部

美浜ジャズオーケストラ

開催日／ 2月26日(土) 時間／11:00～17:00

出演／Dixie Happiness、トランペットヒーローズwith土屋マミ

金津JAZZ倶楽部、ヒナタカコ

Fukui Swingin' 5sax

(白井淳夫・武田幸夫・友吉俊郎・平田友一・笹木幹哲)

料金／入場無料

※事前申込不要ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため
ご入場時に氏名、連絡先等のご記入をお願いします。

主催／福井県・オトカド実行委員会

案内 (有)だいなり Tel:0776-26-7717
dainari@kore.mitene.or.jp
Sound Creator Of Wakasa info@team-scw.com

地域で支える認知症映画上映会
映画「長いお別れ」

■今や他人ごとではない認知症についての普及啓発・理解促進の一環として、映画「長いお別れ」を上映します。「ゆっくり記憶を失っていく父との、お別れまでの7年間で、あたたかな眼差しをもって優しさやユーモアたっぷりに描いた作品」となっております。皆さんお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

開催日／ 2月19日(土)

開場／12:45

上映開始／13:30(127分)

会場／パレア若狭 音楽ホール

(定員200名 先着順)

内容／映画「長いお別れ」

出演／蒼井優、竹内結子、
松原智恵子、山崎努 ほか

料金／入場無料

※事前申し込み必要



案内 福祉課地域包括支援センター Tel:0770-62-2702

創楽堂音楽教室ピアノ発表会

■ピアノソロや連弾で、美しくかっこいい演奏を発表します。これまでたくさん練習してきた成果を出せるよう、一生懸命演奏します。ぜひお越しください。

開催日／ **2月23日(水・祝)**

開演／10:00

※開演時間に変更になる場合がございます

場所／パレア若狭音楽ホール

案内

創楽堂 Tel:0770-52-1313



若狭町立保育所(園) 子どもの絵と写真展・修了記念展

■子どもたちの遊びは新鮮で創造性に溢れ、迫力と感動を与えてくれます。そして、誠実かつ建設的な絵は、子どもたちの確かな育ちを語っています。ぜひご覧ください。

展示期間／

子どもの絵と写真展 (3・4歳児)

1月24日(月)～1月30日(日)

修了記念展 (5歳児)

1月31日(月)～2月6日(日)

※火曜休館

時間／ 9:00～20:00 初日は13時～

場所／パレア若狭ギャラリー

案内

わかば保育園 Tel:0770-62-1411



第24回 小学生人権ポスターコンテスト および 第40回 中学生人権作文コンテスト入賞作品展

■“人権尊重”をテーマに描かれた町内児童生徒および県内の入賞・優秀作品の数々をどうぞご覧ください。

展示期間／

2月16日(水)～2月24日(木)

※火曜休館

時間／ 9:00～20:00 ※最終日は15時まで

場所／パレア若狭ギャラリー

案内

若狭町人権擁護委員 岡本 Tel:0770-64-1707



「アトリエ 若草物語」第6回作品展 東海道五拾三次布絵展

■歌川廣重の東海道五十三次、全55景をパッチワーク、アップリケ、刺繍、ペイント等、様々な手法を駆使して、原版に忠実に布で再現しました。ごゆっくり鑑賞して、ひと時を楽しんで頂ければ幸いです。

展示期間／

2月25日(金)～2月27日(日)

時間／ 9:00～17:00 ※最終日は16時まで

場所／パレア若狭ギャラリー

案内

アトリエ若草物語 玉井 Tel:090-5682-8895



にじいろのおはなし会

■図書館リブラ館こどもひろばにて、毎月第4土曜日14:00に紙芝居をします。参加無料で、赤ちゃんから参加できます。



開催日／ **2月26日(土)**

時間／ 14:00～

場所／図書館リブラ館 こどもひろば

内容／ボランティア「にじの会」さんによる紙芝居
料金／無料

図書館からのオススメ

『お菓子の箱だけで作る空箱工作』

はるきる／著

Twitterで大人気の空箱職人、はるきるさん初の書籍。誰もが知っているお菓子の箱が、立体作品に生まれ変わります。初心者でもできるようにアレンジした、お菓子の箱ほぼ1箱だけで作れる5つの空箱工作を全プロセスカット&型紙付きで掲載。



写真でたどる

No.18

若狭町の歴史遺産

田井野貝塚(田井野)

三方湖の西岸を走る国道162号線付近は、江戸時代まで湖の水際でした。現在、携帯電話のアンテナが立つ梅畑周辺の地下には、縄文時代早期～前期(約9000～5400年前)の田井野貝塚があります。鳥浜貝塚の同時期、及び次ぐ時期の貝塚で出土した土器・石器・獣骨類が、縄文博物館で収蔵されています。



田井野貝塚出土の縄文土器片